

書道部通信

令和5年 6月 29日 発行

第 2 号

札幌清田高校書道部

石狩支部書道研究大会に参加しました！

6月16日(金)北海道北広島高校にて、石狩支部書道研究大会が行われ、36校の書道部員約400名が参加しました。開会式後は、楷書や行書などの書体別グループに分かれ、8月開催の高文連支部書道展に向けて練習中の作品を相互に鑑賞。その後は小グループに分かれ、1人あたり5分の持ち時間で順番に揮毫(毛筆で文字を書くこと)しました。その様子を他のメンバーが観察し、感想を述べて交流を深めて午前の部が終了。午後の部では、他校の先生方にアドバイスをいただきながら、自分の作品を制作。自分の作品と改めて向き合う機会となりました。最後は、開成中等、平岸高校、北広島高校による圧巻の書道パフォーマンスを鑑賞し、躍動感あふれる動きに全員が釘付けでした。



他校の生徒たちとの交流



開成



平岸



北広島

研究会に参加して

2年6組 櫻井 日奈子

私たち書道部は三年ぶりに開催された書道研究大会に参加しました。北広島高校に300人以上の書道部員が集い、初めての光景に圧倒されました。他校の生徒同士でお互いの作品を見て感想を伝えあったり、他校の顧問の先生に作品を見てもらったりなど貴重な経験を得ることができる機会だったと思います。自分は違う視点から良い点や改善点を共有してもらうことで、より優れた作品を作ることができました。

研究会で学んだこと

1年2組 畑中 志織

私は、今回の研究大会でほかの学校の人と書くことで、自分とは違う書き方や視点を学ぶことができました。今、私が練習しているのは、唐の顔真卿という書家の、『建中告身帖』という古典です。大会では、同じ顔真卿の古典を書いている人を観察し、書き手によって書の書き方が違うのだなと思いました。今回の交流で知った「表現の違い」を大切にしながら作品を作っていきたいです。

OBの活躍

本校45期卒業生の池田さん・近藤さんが、学園祭の横断幕を揮毫。大好評だったようです。

